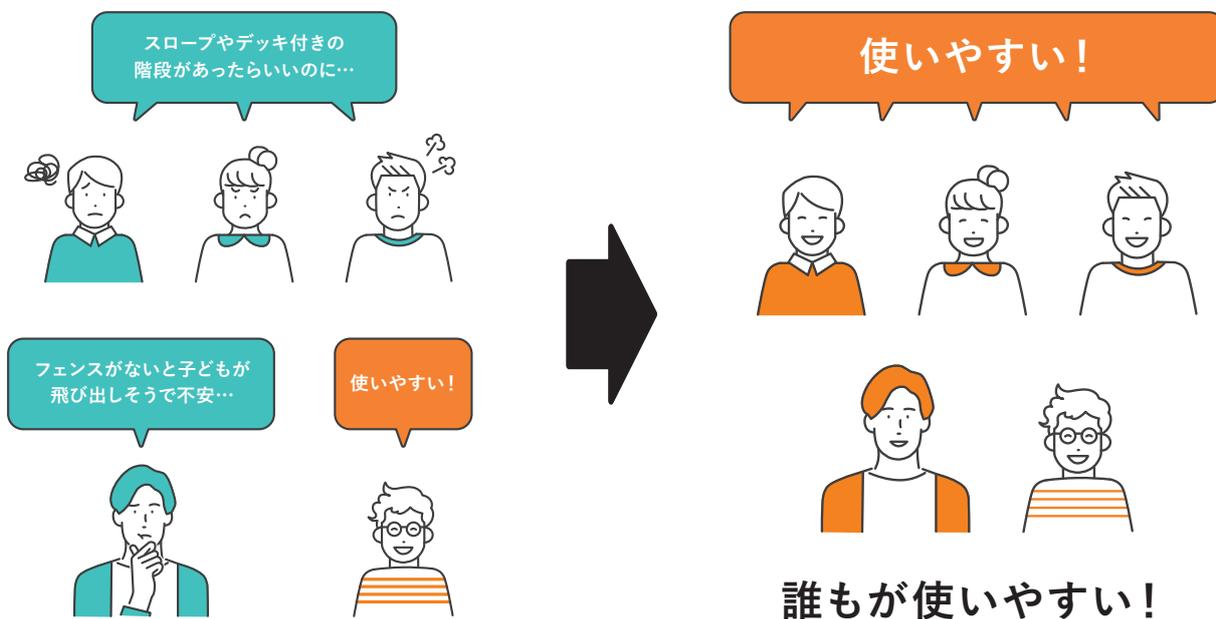


Inclusiveを日本語に訳すと“ 包括的な ”という意味になります。インクルーシブとは年齢・性別・文化・個性を尊重し誰もがお互いを認め合うことです。ASD(自閉スペクトラム症)などの発達障がいや知的障がい・認知障がい・感覚障がいに対する先入観や固定観念を持たず、お互いを認め合うことがとても重要です。子どもたちが楽しく遊ぶためには『滑る・回る・登る・揺れるなどの身体を動かす遊び』や『触覚や聴覚などの五感を刺激することや自然とふれ合う体験』また『子どもたちで遊び方やルールを学び社会性や感情のコントロールを深める遊び』などを取り入れることが大切です。自分に合った楽しみ方を見つけ出し、みんなで一緒に遊ぶことで楽しさを共有して成長していきます。みんなにとっての「使いやすさ」を最大限に高めることですべての子どもに寄り添い一人ひとりに合ったペースで成長していける空間づくりをサポートします。

ユニバーサルデザインとの違い・・・

ユニバーサルデザインは、多機能トイレやシャンプーボトルなど私たちの生活に身近な存在のため、インクルーシブデザインと混同しがちですが、この2つは異なる考え方です。ユニバーサルデザインは「できるだけ多くの人が使えるようにデザインしよう」と考えるのに対して、インクルーシブデザインでは「個々の使用者に寄り添い、ニーズや価値観を深く理解した上でデザインしよう」と考えます。ユニバーサルデザインで排除されがちだった少数派の人々の意見まで取り入れ、「みんなが使えるように」と考えるのが、ユニバーサルデザインとの大きな違いです。

遊び場におけるインクルーシブデザインの考え方



子どもたちが『遊び』という経験を通して成長し、学習できる豊かでインクルーシブな遊び場を提供します。『遊び』を身体的・感覚的・社会的という3つのカテゴリーに分けて組み合わせることでより充実した遊び場をつくれます。また遊具を設計する際には1つの遊びにだけ焦点が当たらないように注意が必要です。

PHYSICAL

身体的な遊び

滑る・回る・登る・転がる・揺れる・ジャンプなど難易度を定めて、実際に身体を動かして体験する遊び。



SENSUOUS

感覚的な遊び

触覚・聴覚・視覚・嗅覚・味覚などの五感を刺激する体験や自然とのふれ合いで認知能力・創造力を豊かにすることが体験できる遊び。



SOCIAL

社会的な遊び

子ども同士でふれ合いながら様々な遊び方やルールを学び、子どもの社会性や感情のコントロール・運動能力・言語能力を深める遊び。

